

日本一 地域に寄り添い、日本一 地域に愛される病院づくり

『歴史と文化が織りなす日本のふるさと佐渡』にふさわしく景観をリードし、
地域に寄り添い、地域の安心を支えつづける市民の誇りとなる病院づくりを行います

「歴史と景観」
をまもる

佐渡の自然・風土と共生
地域景観の向上、
佐渡の歴史・文化を紡ぐ

「地域医療」
を支え続ける

柔軟性の高い施設計画
働きやすい環境づくり
高齢者にやさしい施設計画

「地域」
に寄り添う

公共施設としての施設計画
病院、病診、福祉との連携
災害時・非常時の機能継続



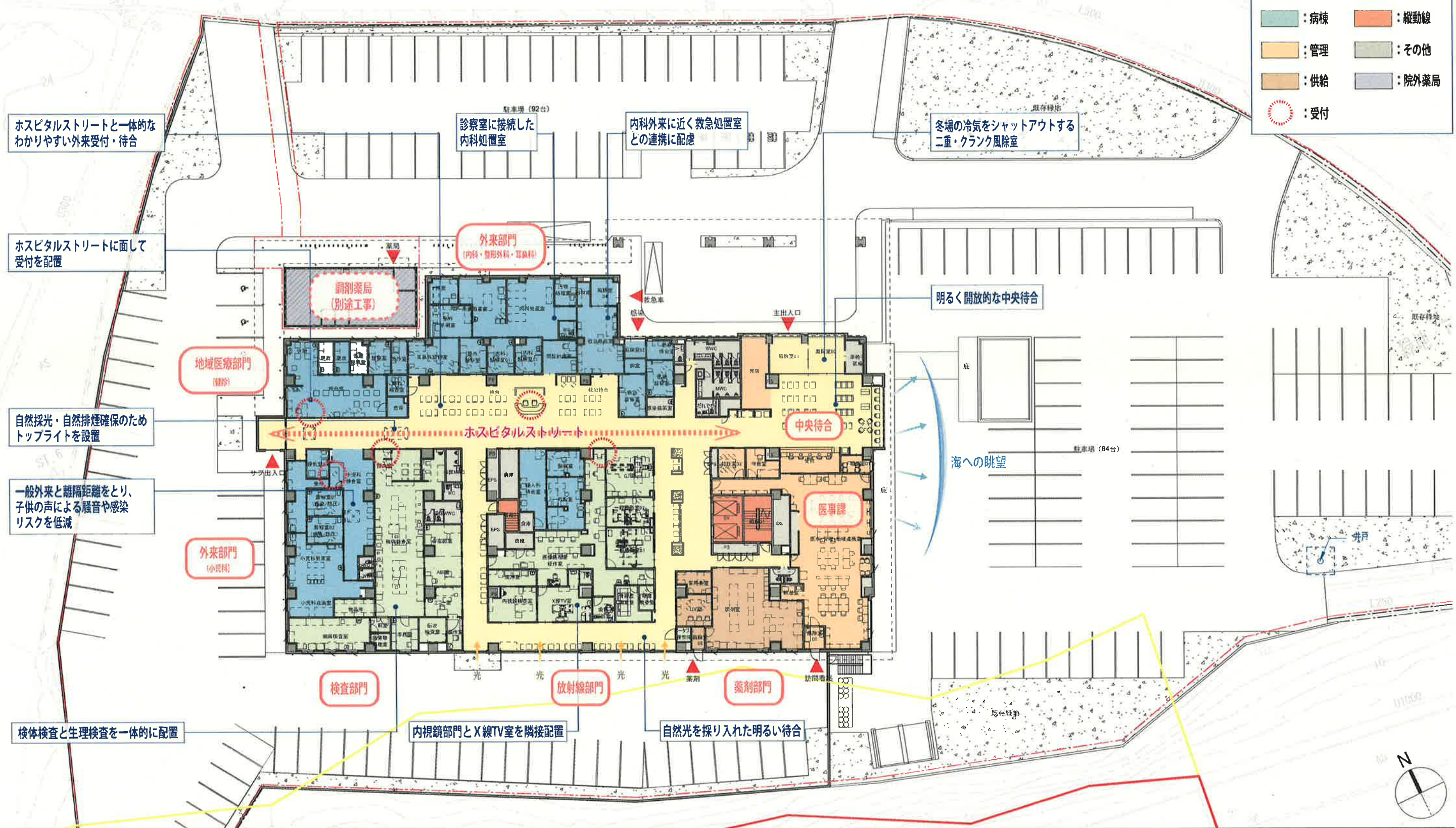
新佐渡市立両津病院 基本設計業務

【平面計画のコンセプト】

- ・ホスピタルストリートを中心としたわかりやすい平面計画により、高齢者の利用に配慮します。
- ・部門別の連携に配慮した機能的な平面計画とします。

■凡例

■ 外来	■ 共有部
■ 診療	■ SS
■ 病棟	■ 縦動線
■ 管理	■ その他
■ 供給	■ 院外薬局
○ 受付	



ホスピタルストリートと一体的なわかりやすい外来受付・待合

ホスピタルストリートに面して受付を配置

自然採光・自然排煙確保のためトッライトを設置

一般外来と隣隔距離をとり、子供の声による騒音や感染リスクを低減

検体検査と生理検査を一体的に配置

診察室に接続した内科処置室

内科外来に近く救急処置室との連携に配慮

冬場の冷気をシャットアウトする二重・クランク風除室

外来部門 (内科・整形外科・耳鼻科)

調剤薬局 (別途工事)

地域医療部門 (健診)

中央待合

外来部門 (小児科)

医事課

検査部門

放射線部門

薬剤部門

内視鏡部門とX線TV室を隣接配置

自然光を採り入れた明るい待合

明るく開放的な中央待合

海への眺望

1階平面図 S=1:400

豊かな自然 薫り高い文化 佐渡島の風土を表現する

Design Concept

『歴史と文化が織りなす日本のふるさと佐渡』にふさわしく景観をリードし、
地域に寄り添い、地域の安心を支えつつける市民の誇りとなる病院づくりを行います。

豊かな自然



薫り高い文化





敷地北側から新病院を見る

■外装デザインコンセプト

1. 佐渡の景観に呼応するデザイン



敷地周辺にとどまらず佐渡島にはヒューマンスケールな景観が広がります。それと呼応するような外装デザインとすることで、「歴史と文化が織りなす日本のふるさと佐渡」にふさわしい景観をつくります。

2. 分節化された外観デザイン



下部と上部を水平の底で分節化することにより、周辺建物のスケール感に合わせた計画とします。下部は佐渡の自然、上部は佐渡の集落をイメージしたデザインとすることで、周辺環境との調和を図っています。

3. 佐渡の自然を表現した下部仕上



下部仕上は、佐渡の自然をモチーフとして、アースカラー系をベースとして計画します。風合いのあるタイル貼りとし、佐渡島の自然の雄大さと重厚感を表現します。

4. 佐渡の集落を表現した上部仕上



上部仕上は、佐渡の集落を表現したあたたかみと佐渡らしさを感じられるウォーム系の白をベースとして計画します。コンクリート素材とセラミックシリコン樹脂系仕上塗材（左官調）仕上のボーダー調のデザインとすることで、ヒューマンスケールな計画とします。

5. 木調仕上げの大庇



メインエントランスに設けられた車寄せの大庇の軒天井には既存の両津病院のような木調ルーバー仕上とし、市民をあたたく包み込む親しみのあるエントランスを計画します。



敷地出入口から新病院を見る



敷地南東側から新病院を見る

外装デザインコンセプト



南側・西側は日射の影響を抑制する Low-e 複層ガラスを採用

加茂小学校校庭側（敷地南側）から新病院を見る



北西からの季節風から歩行者をまもる雁木

敷地北側から新病院を見る

外装デザインコンセプト